

日本語・文化・传播丛书
第11卷

日语古典语法

谢立群 姜红 ◎ 编著



中国传媒大学出版社



日本语言·文化·传播丛书
第2辑

日语古典语法

谢立群

姜红

◎ 编著



中国传媒大学出版社

·北京·

图书在版编目(CIP)数据

日语古典语法/谢立群,姜红编著. —北京:中国传媒大学出版社,2019.1
(日本语言·文化·传播丛书.第3辑)
ISBN 978-7-5657-2420-6

I. ①日… II. ①谢… ②姜… III. ①日语—语法—教材 IV. ①H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2018) 第 256705 号

日语古典语法

RIYU GUDIAN YUFA

编 著 谢立群 姜 红
策划编辑 冬 妮
责任编辑 李 莉
特约编辑 沈梦绮
封面设计 郭 琳
责任印制 曹 辉

出版发行 中国传媒大学出版社

社 址 北京市朝阳区定福庄东街1号 邮编:100024
电 话 86-10-65450528 65450532 传真:65779405
网 址 <http://www.cucp.com.cn>
经 销 全国新华书店

印 刷 北京玺诚印务有限公司
开 本 710mm×1000mm 1/16
印 张 11.25
字 数 140千字
版 次 2019年1月第1版
印 次 2019年1月第1次印刷

书 号 ISBN 978-7-5657-2420-6/H·2420 定 价 58.00元

版权所有 翻印必究 印装错误 负责调换

目 录 >>>> CONTENTS

第1课 历史假名的特点 / 1

一、历史假名的特点 / 1

二、「いろは歌」 / 4

三、词义的变化 / 5

第2课 形容词 / 10

一、ク活用 / 10

二、シク活用 / 12

三、形容词词干的用法 / 14

第3课 形容动词 / 20

一、ナリ活用 / 20

二、タリ活用 / 22

三、形容动词词干的用法 / 23

第4课 动词1 / 27

- 一、四段活用动词(四段动词) / 27
- 二、力行变格活用动词(力变动词) / 30
- 三、サ行变格活用动词(サ变动词) / 31
- 四、ナ行变格活用动词(ナ变动词) / 33

第5课 动词2 / 37

- 一、ラ行变格活用动词(ラ变动词) / 37
- 二、上一段活用动词(上一段动词) / 39
- 三、上二段活用动词(上二段动词) / 42
- 四、下一段活用动词(下一段动词) / 45
- 五、下二段活用动词(下二段动词) / 46

第6课 过去助动词「き」「けり」 / 51

- 一、「き」的用法 / 52
- 二、「けり」的用法 / 54

第7课 完了助动词「つ」「ぬ」「たり」「り」 / 59

- 一、「つ」「ぬ」的用法 / 59
- 二、「たり」「り」的用法 / 63

第8课 否定助动词「ず」「じ」「まじ」 / 68

一、「ず」的用法 / 68

二、「じ」的用法 / 70

三、「まじ」的用法 / 71

第9课 推量助动词「む」「らむ」「けむ」 / 75

一、「む」的用法 / 75

二、「らむ」的用法 / 78

三、「けむ」的用法 / 81

第10课 「る」「らる」和「す」「さす」「しむ」 / 85

一、被动、尊敬、可能、自发助动词「る」「らる」的用法 / 85

二、使役、尊敬助动词「す」「さす」「しむ」的用法 / 88

第11课 「なり」和「たり」 / 92

一、传闻推定助动词「なり」的用法 / 92

二、断定助动词「なり」的用法 / 94

三、断定助动词「たり」的用法 / 96

第12课 助词1 / 100

一、格助词「の」「が」的用法 / 101

二、副助词「だに」「さへ」的用法 / 103

三、接续助词「ば」「が」「に」「を」的用法 / 105

第13课 助词2 / 110

一、系助词的用法 / 110

二、终助词的用法 / 114

第14课 作品鉴赏「なよ竹のかぐや姫」 / 119

第15课 作品鉴赏「東下り」 / 129

第16课 作品鉴赏「春はあけぼの」 / 140

第17课 作品鉴赏「羅城門」 / 147

第18课 作品鉴赏「行く川の流れ」 / 158

附 录 日本古典文学作品介绍(本书例句所引) / 166

第1课 历史假名的特点

日语古语所用的历史假名(「歴史的仮名遣い」)与现代日语所用的现代假名(「現代的仮名遣い」)有所不同。比如:现代文中的「かわ」(「川」)在古文中写作「かは」,「えほん」(「絵本」)在古文中写作「ゑほん」,「きょうと」(「京都」)在古文中写作「きやうと」。因此,我们有必要了解历史假名的特点。另外,日语从古至今经历了长时期的发展过程,随着社会的发展和人们认识的变化,很多词语在意思上都发生了不同程度的变化。有些词从形式上看古今相同,但从意义上看古今毫无关系或差异很大,因此在学习中要注意这些变化。

一、历史假名的特点

(1) 古文中经常出现的「ゐ、ゑ、を、ぢ、づ」这5个假名分别读作「イ、エ、オ、ジ、ズ」,在现代日语中分别写作「い、え、お、じ、ず」。

ゐる(居る) → いる

こゑ(声) → こえ

をとこ(男) → おとこ

はぢ(恥) → はじ

みづ(水) → みず

(2) 在古文中, 当「は、ひ、ふ、へ、ほ」这5个假名出现在词尾或者词语中间时, 分别读作「ワ、イ、ウ、エ、オ」, 在现代日语中分别写作「わ、い、う、え、お」。

かは(川) → かわ

かひ(貝) → かい

かふ(飼ふ) → かう

いへ(家) → いえ

かほ(顔) → かお

(3) 古文中长音的表示方法与现代日语不同。

①あ段假名+う(ふ), 相当于现代日语的「オ段+う」。
如「あう(ふ)、かう(ふ)、さう(ふ)」分别读作「オー、コー、ソー」, 在现代日语中写作「おう、こう、そう」。

あふぎ(扇) → おうぎ

なかうど(仲人) → なこうど

はなさう(話さう) → はなそう

たうげ(峠) → とうげ

ばうず(坊主) → ぼうず

まうす(申す) → もうす

やうやう → ようよう

げらう(下臈) → げろう

わうじ(王子) → おうじ

② イ段假名+う(ふ), 相当于现代日语的「イ段+ゆう」。
如「いう(ふ)」读作「ユー」, 写作「ゆう」; 「しう(ふ)」读作「シュー」, 写作「しゅう」。

はいいう(俳優) → はいゆう

あたらししう(新しう) → あたらししゅう

きふ(灸) → きゆう

にうじゃく(入寂) → にゅうじゃく

ちう(宙) → ちゅう

ひうが(日向) → ひゅうが

かりうど(狩人) → かりゅうど

③ エ段假名+う(ふ), 相当于现代日语的「エ段+よう」。
如「けう(ふ)」读作「キョウ」, 写作「きょう」。

けふ(今日) → きょう

せうそく(消息) → しょうそく

てふてふ(蝶々) → ちょうちょう

(4) 拗音「や、ゆ、よ」以及促音「つ」原则上不能小写。

きやうげん(狂言) → きょうげん

しゆしやう(主上) → しゆしょう

ちや(茶) → ちゃ

(5) 「くわ」读作「か」, 「ぐわ」读作「が」。

くわし(菓子) → かし

ぐわん(願) → がん

二、「いろは歌」

日本流传至今的《伊吕波歌》(「いろは歌」)是日本古代儿童的习字歌,相当于今天的「五十音图」。据传,它是由空海(774—835)将日语假名巧妙排序编制的一首诗歌,歌意由《大般涅槃经》中的偈语“诸行无常,是生灭法,生灭灭已,寂灭为乐”而来。歌中每个假名只使用一次,一共有47个假名,包括现在已经不再使用的「ゐ」和「ゑ」。《伊吕波歌》对日语平假名的普及起了很大的作用。

いろはにほへと ちりぬるを

わかよたれそ つねならむ

うゐのおくやま けふこえて

あさきゆめみし	ゑひもせず
^{いろ} 色はにほへど	^ち 散りぬるを
^わ ^よ 我が世たれぞ	^{つね} 常ならむ
^う ^み 有为の奥山	^け ^ふ ^こ 今日越えて
^{あさ} ^{ゆめ} ^み 浅き夢見じ	^ゑ 酔ひもせず

三、词义的变化

日语古语中的有些词语今天已经消失，有些词语从形式上看古今相同，但从意义上看古今毫无关系或差异很大。例如，古语形容词「うつくし」在平安时代是可爱的意思，用来形容纤细弱小的人和物，例如：

うつくしきもの 瓜に書きたるちごの顔。（『枕草子』）

（かわいらしいもの。瓜にかいた幼子の顔。）

而在更早的奈良时代，「うつくし」一词则用于表示长辈对晚辈、男人对女人的怜爱之情。例如：

^{ちちはは}父母を見れば尊し^{めこ}妻子見ればめぐしうつくし。（『万葉集』）

（父と母を見ると尊い、妻と子を見ると切ないほどかわいくいとしい。）

再如，古语形容词「ありがたし」是由动词「有^あり」和形容词

^{かた}「難し」组成的，表示「生きていることが難しい」「暮らしにくい」，即难以生存的意思。例如：

世の中は、ありがたくむづかしげなるものかな。（『源氏物語』）

（人の世は、生きにくくわずらわしいものよ。）

此词又被引申为「めったにない」「珍しい」，即难得的、可贵的意思，如：

ありがたきもの。^{しうと}舅にほめらるる婿。また、^{しうとめ おも}姑に思はるる嫁の君。（『枕草子』）

（めったにないもの。舅にほめられる婿。また、姑に*かわい*がられるお嫁さん。）

而在现代日语中，「ありがたい」一词更多地用于表达感谢之情。

ありがたく頂戴いたします。

日语古语中类似的例子很多，这也是古语学习的一个难点，需要勤查工具书，避免出差错。



图 1-1 「御茶ノ水駅」的老站名
 東京都千代田区・文京区。在老站名中,「おちや」写成「おちや」,「みづ」写成「みづ」。



图 1-2 老字号「どじょう鍋」的店名
 「どじょう」汉字为「泥鰌、鰌」,历史假名应写作「どちやう」或「どじやう」。
 料理店开业时(1806年)为了旺财旺运,使用了发音相近的「どぜう」作为店名。

 练习

1. 请将下面的历史假名改为现代假名。

みなか(田舎)	→	_____
ゑんりょ(遠慮)	→	_____
をんな(女)	→	_____
うづ(渦)	→	_____
もみぢ(紅葉)	→	_____
おもふ(思ふ)	→	_____
やしなひ(養ひ)	→	_____
まへ(前)	→	_____
きのふ(昨日)	→	_____
かうし(格子)	→	_____
にふだう(入道)	→	_____
せうなごん(少納言)	→	_____
いてふ(银杏)	→	_____
くわじつ(果实)	→	_____
いうげん(幽玄)	→	_____

2. 请参照解释,说明下列表中的词语古今意思有何不同。

词语	古语词义	现代语词义
ふみ	手紙、漢詩、漢学。	書物、手紙。
衣(ころも)	衣服、着物。	揚げ物や菓子などの外面をくるんだり、まぶしつけたりするもの。
御前(おまへ)	(1) 神仏や貴人のお側。 (2) 貴人の敬称、または貴人その人。	親しい相手に対して、または同輩以下をやや見下して呼ぶ語。
けしき	様子。	自然界のありさま。
ちご	寺院や、公家・武家で召し使われた少年。	幼児。

第2课 形容词

日语古语的词汇与现代日语一样,可以分为十类,即名词、副词、连体词、接续词、感动词、动词、形容词、形容动词、助词、助动词。

形容词是用来表示事物的状态及性质的词,有活用变化,属于用言。古语形容词的特征为:(1)终止形是「……し」;(2)「し」以外的部分为词干;(3)古语形容词有「ク活用」与「シク活用」两种活用类型。

「ク活用」与「シク活用」这两种活用类型的分辨方法是后接「なる」时,如果变成「……くなる」为「ク活用」,变成「……しくなる」为「シク活用」。例如:

高し→高くなる(ク活用)

嬉し→嬉しくなる(シク活用)

一、ク活用

如:高し、荒し、多し、おもしろし、つらし、ちかし、なし、